

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年27週 (7月1週 7/4~7/10)

2016年6月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、流行性角結膜炎、梅毒、予防接種法施行令等の一部改正

定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(28)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、梅毒(7)、播種性クリプトコックス症(1)、風しん(1)

2016年6月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

ヘルパンギーナ(図1)

27週の定点当たり報告数は2.88、26週306人 27週525人(1.72倍)です。

【参考ページ】

豊橋市: ヘルパンギーナが流行しています(7月11日発表)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/44545/H28herpangina1.pdf>

疾患別ウイルス検出状況(速報)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

流行性耳下腺炎(図2)

27週の定点当たり報告数は0.68、26週112人 27週123人(1.10倍)です。

【参考ページ】<注目すべき感染症>流行性耳下腺炎

(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-23.pdf>

伝染性紅斑

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。

27週の定点当たり報告数は0.48、26週111人 27週88人(0.79倍)です。

流行性角結膜炎

27週の定点当たり報告数は0.86、26週31人 27週30人(0.97倍)です。

梅毒(図3)

2016年27週までの累積報告数(診断週集計)は117件(男93件、女24件)です。2015年27週までの累積報告数は45件(男39件、女6件)、2015年総報告数は122件(男92件、女30件、うち先天梅毒1件)でした。

全国の2016年26週までの累積報告数は2,019件です(2015年総報告数は2,697件)。

【参考ページ】<注目すべき感染症>梅毒(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-12.pdf>

予防接種法施行令等の一部改正について

平成28年10月1日より定期予防接種(A類疾病)にB型肝炎が追加されます。対象者は1歳に至るまでの間にある者(ただし、平成28年4月1日以後に生まれた者に限り)で、接種回数は3回です。

【参考ページ】予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000128709.pdf>

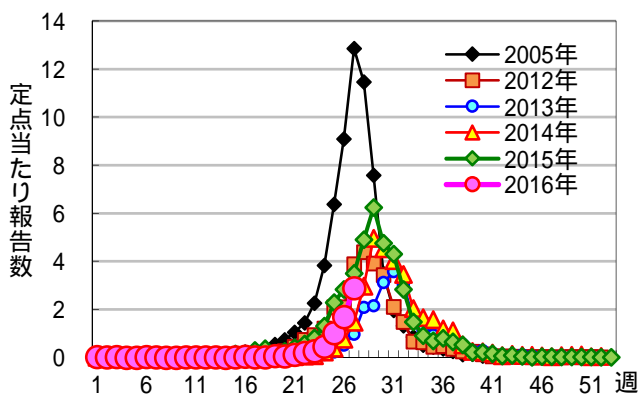


図1 ヘルパンギーナ

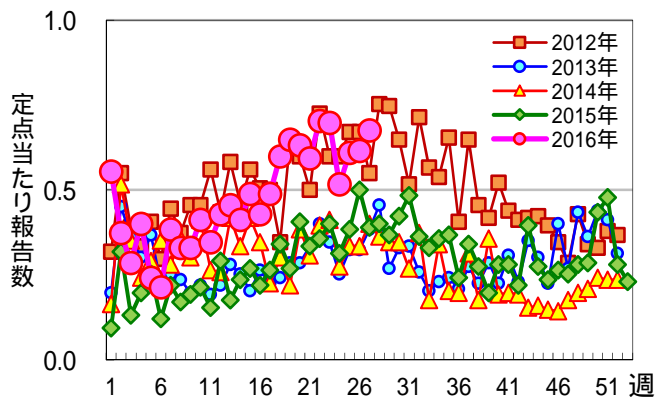


図2 流行性耳下腺炎

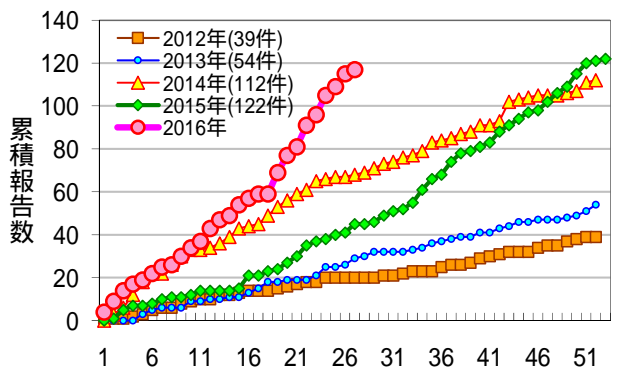


図3 梅毒の累積報告数

(愛知県、2012年-2016年、2016年7月13日現在)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

先週分から
6歳男 サルモネラO4群
7歳男 カンピロバクター
マイコプラズマ肺炎 3人(4歳、7歳、8歳)
【一宮市 あさのこどもクリニック】
夏カゼのような患児は多い。
【一宮市 後藤小児科医院】
りんご病とヘルパンギーナが見られます。
カンピロバクター等の細菌性胃腸炎が増えています。
溶連菌は3名でした。
【犬山市 武内医院】

ヘルパンギーナ含めて夏かぜ疾患が多いです。
アデノウイルス感染症 4例
流行性耳下腺炎流行続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
ヘルパンギーナ増えてきました。
ムンプスも流行がつづいています。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
36歳女 カンピロバクター検出
1歳男 アデノウイルス、溶連菌感染症、急性
小脳失調症で入院
溶連菌、ヘルパンギーナ、ムンプス散発です。
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

手足口病、ヘルパンギーナ増えてきました。
ウイルス性気管支炎が多くみられます。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
ヘルパンギーナ大流行
伝染性紅斑、おたふくも流行中
【豊明市 こども元気クリニック】
ムンプスはまだまだ多いです。
ADVが増えています。
【春日井市 春日井市民病院】
3歳男 病原性大腸菌O25 サルモネラO9
溶連菌多発しています。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ
肺炎がかなりみられます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 6歳 40歳 家族発生
水痘、耳下腺炎散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
カンピロバクター腸炎 1名(2歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
4歳男 ロタウイルス
伝染性紅斑が出ています。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+)6歳女 5か月男
E.coli(O1)+カンピロバクター 7歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
3歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】
マイコプラズマ肺炎(5歳男 8歳男 10歳男
6歳女)
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
マイコプラズマ(7歳女、14歳女、11歳男)
アデノ(咽) 1歳男
伝染性紅斑が増加傾向
【岡崎市 花田こどもクリニック】

7歳女 マイコプラズマ肺炎
手足口病、ヘルパンギーナ散見されます。
溶連菌感染症目立ちます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
手足口病、ヘルパンギーナ出始めました。
流行性耳下腺炎、マイコプラズマも引き続
きます。
【碧南市 永井小児クリニック】
ムンプス 8名
【知立市 宮谷クリニック】
カンピロバクター 2歳女
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ヘルパンギーナ流行中です。
咽頭結膜熱、ヒトメタニューモウイルス感染症
もあります。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

病原性大腸菌O1 3歳男
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年7月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年27週報告数			2016年総計(1～27週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	10	2	4	383	95	97
豊田市				36	7	11
豊橋市	1			34	5	11
岡崎市	1			30	10	8
一宮	3	1		77	28	17
瀬戸	4	1		67	13	21
半田	1	1		26	7	11
春日井	1	1		59	10	17
豊川				20	6	5
津島	1			48	6	22
西尾				16	3	3
江南	1			25	5	2
新城				6	3	2
知多	1		1	45	10	16
清須				16	8	1
衣浦東部	4			56	7	10
合計	28	6	5	944	223	254

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	39歳	女	6/30	7/4	7/7	フィリピン

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	36歳	男	6/27	6/28	7/4	O157、VT1(+) VT2(+)
2	豊橋市	41歳	男	6/29	7/1	7/5	O157、VT2(+)
3	一宮	7歳	女	7/2	7/5	7/8	O26、VT1(+)
4	豊川	1歳	男	7/7	7/7	7/8	O血清型不明、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	春日井	26歳	男	デング熱	インドネシア

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊川	55歳	男	肺炎型	不明
2	江南	51歳	男	肺炎型	国内
3	衣浦東部	60歳	男	肺炎型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	82歳	女	不明	国内	無
2	一宮	27歳	男	院内感染	国内	無
3	瀬戸	75歳	女	院内感染	国内	無
4	衣浦東部	73歳	男	医療器具関連感染	国内	無

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊川	93歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	84歳	男	不明	国内
2	瀬戸	71歳	男	不明	国内
3	江南	58歳	女	無	国内
4	知多	94歳	女	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	42歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	43歳	男	早期顕症	不明	国内
4	豊田市	31歳	女	無症候	性的接触	国内
5	春日井	40歳	男	晚期顕症	性的接触	国内
6	春日井	40歳	男	晚期顕症	性的接触	国内
7	江南	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内

播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域
1	衣浦東部	88歳	女	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	43歳	男	不明	中華人民共和国

6月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年6月			2016年	2015年			
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>			
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0			
二類 (7) 結核	113 (39)	74 (20)	187 (59)	910 (248)	1,683 (463)			
三類 (5) 細菌性赤痢	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (1)	6 (1)			
	16 (4)	8 (4)	24 (8)	40 (16)	98 (21)			
	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)			
四類 (44) E型肝炎	1	1	2	2	8			
	A型肝炎	0	0	0	3	10		
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1		
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-		
	つつが虫病	0	0	0	0	2		
	デング熱	1	0	1	7	17		
	日本紅斑熱	1	0	1	1	0		
	マラリア	0	0	0	0	2		
	ライム病	0	0	0	0	1		
	レジオネラ症	10	2	12	40	99		
	五類 (22) アメーバ赤痢	7	4	11	38	66		
		ウイルス性肝炎	0	0	0	3	15	
内訳		B型	0	0	0	2	10	
		その他	0	0	0	1	5	
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		4	1	5	30	80		
急性脳炎		0	1	1	24	27		
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	1		
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	1	1	5	8		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	0	1	13	16		
後天性免疫不全症候群		5	7	12	45	107		
内訳		無症候性キャリア	4	7	11	32	60	
		AIDS	0	0	0	11	43	
		その他	1	0	1	2	4	
ジアルジア症		0	0	0	1	4		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	15	15		
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	1	1	2	0		
侵襲性肺炎球菌感染症		8	1	9	85	161		
水痘(入院例に限る。)		2	0	2	6	17		
梅毒		9	24	33	113	122		
		内訳	無症候	2	8	10	33	43
			早期顕症	5	16	21	74	71
			晩期顕症	2	0	2	6	7
	先天梅毒		0	0	0	0	1	
播種性クリプトコックス症	0	1	1	4	10			
破傷風	0	0	0	2	8			
風しん	6	2	8	14	13			
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	1	0			
総計	185	129	314	1,412	2,599			

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2016年6月			2016年 累計		2015年 総計			
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				合計	合計	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	27	36	63	414	729	855	1,501
		女	35	26	61	315	315	646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	12	7	19	111	315	224	601
		女	20	22	42	204	377	377	
尖圭コンジローマ	男	3	11	14	102	149	217	328	
	女	7	1	8	47	47	111		
淋菌感染症	男	10	17	27	218	255	489	565	
	女	3	3	6	37	37	76		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		46	11	57	437		1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		12	3	15	55		92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年4月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

